

三笠市

人口 7,930人(2022.1)
主な観光ポイント
桂沢湖、三笠市立博物館

CO₂排出量実質ゼロの水素製造へ

室蘭工大との教育連携（実験見学会）

CO₂地下固定実験の現場世界初のCO₂地下固定実験が始まる

三笠市には、市面積の8割を占める森林と、約7.5億トンの石炭が未利用資源として眠っています。豊富な資源を活用した地域振興を目指し、室蘭工業大学などと連携して、水素製造・利活用に向けた研究や調査を進めています。

水素製造時に発生するCO₂は、昔の石炭採掘跡などに埋め戻すという、地域特性を生かした陸域CCSを目指します。これまでに、ヤフー株式会社の寄附金などを活用して、地下約400mにCO₂を埋め戻して固定する実験を行いました。

CO₂排出量実質ゼロとなる水素製造・利活用を通じて、新たなまちづくりを目指しています。

■プロジェクト

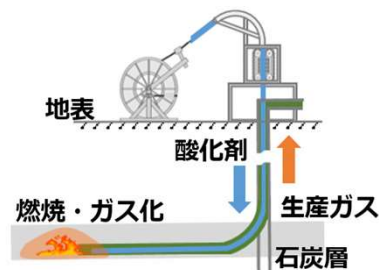
水素製造実証実験事業

基礎実験（模擬炭層の実験）/
実証試験（CO₂地下固定実験、
CO₂フリー水素の生産実験）

事業年度・事業費

6カ年事業（予定）

1,260,000千円



石炭地下ガス化の概念図



〈三笠市産業開発課〉

☎01267-3-7090

mail: sangyok@city.mikasa.hokkaido.jp

北竜町

人口 1,713人(2022.1)
主な観光ポイント
ひまわりの里

ひまわりを活用した魅力あるまちづくり



ひまわり油



ひまわり刈り取り作業

ひまわりを活かした6次産業化の推進

北竜町では、町特産である「ひまわり油」の利活用促進に向けて、民間企業における豊富な知見や高い技術を活用し、農業や観光業などを中心とした地域経済の活性化や交流人口拡大の取組を行っています。

ひまわり油の知名度向上や新商品開発などに応援いただける企業の皆様からの連絡をお待ちしています。

■プロジェクト

ひまわり油再生プロジェクト

ひまわりを活用した新商品開発
と販路拡大/ひまわり油を原料
とした食品や化粧品開発/飲料
店等でのメニュー開発

事業年度・事業費

令和3～5年度

86,667千円



〈北竜町ひまわりプロジェクト推進室〉

☎0164-34-2111

mail: info@town.hokuryu.hokkaido.jp

石狩市

人口 58,096人(2022.1)
 主な観光ポイント
 道の駅石狩「あいろーど厚田」

再エネの地産地活の実現に向けて



REゾーン（再エネ100%エリア）



石狩市厚田マイクログリッドシステム

再エネで産業振興と地域課題の解決を

石狩市では、地域に豊富に賦存する再生可能エネルギーを、産業振興や地域の課題解決に活用すべく、「再エネの地産地活」の実現に向けた取組を進めています。

北海道を代表する産業拠点である石狩湾新港地域では、電力需要に対し、100%再エネでの供給を目指すエリア「REゾーン」を設定し、産業集積と脱炭素を同時に実現する取組を進めています。

また、厚田地区では「石狩市厚田マイクログリッドシステム」により、災害などで地域が孤立してもエネルギーの安定供給を実現する仕組みを構築しました。

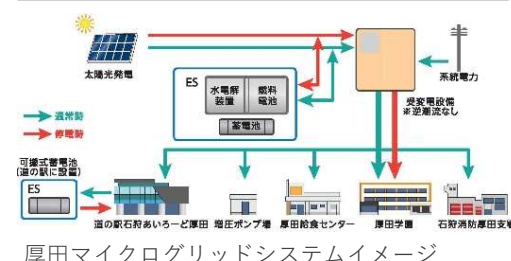
■プロジェクト

石狩市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく事業

エネルギー関連産業を核とした新たな産業空間の形成事業 など

事業年度・事業費

未定



厚田マイクログリッドシステムイメージ



〈石狩市企画経済部企業連携推進課〉

☎0133-72-3158

mail: kouwank@city.ishikari.hokkaido.jp

岩内町

人口 11,658人(2022.1)
 主な観光ポイント
 オートキャンプ場マリンビュー

地場産業の活性化に向けた海洋深層水の新たな挑戦



トラウトサーモン



稚ナマコ

岩内町海洋深層水を活用したトラウトサーモン・稚ナマコの養殖

岩内町の主要産業である漁業の安定化を図ることを目的として、町では、海洋深層水を活用した、トラウトサーモン・稚ナマコの養殖・蓄養試験を実施します。

本試験を通じ、付加価値の高い新たな水産資源開発の可能性を検討します。

■プロジェクト

新たな増養殖企業化検討実証試験事業

ナマコ種苗生産技術の習得、生産試験/稚ナマコの育成試験、生育検証試験/サーモン養殖基礎調査/サーモンの養殖・蓄養試験/鮮魚高鮮度保持技術の検討

事業年度・事業費

令和3～5年度

30,777千円



岩内町地場産業サポートセンター



〈岩内町経営企画部企画財政課〉

☎0135-62-1011

mail: kikaku@town.iwanai.lg.jp

余市町

人口 17,920人(2022.1)

主な観光ポイント

余市宇宙記念館

食の都よいちフルコースプロジェクト



余市町産のフルコース



広大なヴィンヤードとワイン用ぶどう

「食の都」としての地位の確立

余市町には食に関する資源がとても豊富です。前菜からデザート、そしてワイン等のお酒。フルコース料理を作るポテンシャルがあり「食の都」として存在感のある地域となれる可能性がある町です。

しかしながら、現状そのポテンシャルを十分に活かしきれていませんでした。

そこで、この「食の都よいちフルコースプロジェクト」により食の可能性を引き出すことで、「食の都」としてのブランディング・地位を確立し、生産者やサービス事業者等の所得の向上、インバウンドを含む来訪者の増加を目指し、活力のある地域を目指します。

■プロジェクト

総合戦略に基づく事業

水産資源の増殖補助/農産物の苗木補助/新商品開発の補助/地域資源活用人材の育成事業/トップセールス事業/展示会やイベントへの出品の補助/パンフレット、ポスターの作成/外部人材の活用/商店街の売り上げ向上に資する補助 など

事業年度・事業費

令和3～5年度

100,500千円



オール余市の豊富な食資源



〈余市町総務部企画政策課〉

☎0135-21-2117

mail: kikaku-s

@town.yoichi.hokkaido.jp

赤井川村

人口 1,115人(2022.1)

主な観光ポイント

キロロリゾート、山中牧場

新規就農者育成プロジェクト



パラグライダーに乗って



研修風景

農業の担い手育成から持続的な村づくりを！

赤井川村は、四方を山々に囲まれた国内でも珍しい「カルデラの里」で、日本で最も美しい村連合に加盟する人口1200人ほどの小さな農村です。

120年前の開拓の頃より農業の営みが続いておりますが、農家世帯はゆるやかに減少しています。地域農業の衰退は、農村風景や地域経済はもとより、地域の様々な暮らしの支え合いにも大きな影響を及ぼしていきます。

村では新規就農受入の取組を平成7年度から進めてきておりますが、令和3年度からは受入体制を拡充して、地域の担い手育成に取り組んでいきます。

■プロジェクト

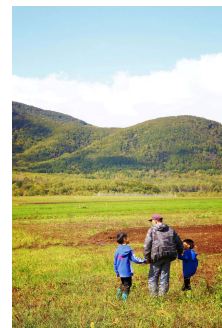
新規就農者の育成、営農実習支援金の拡充/遊休農地保全事業

営農実習支援金の拡充/遊休農地保全事業

事業年度・事業費

令和3～6年度

5,500千円



林農園



〈赤井川村総務課企画地域振興係〉

☎0135-34-6211

mail: soumuka@akaigawa.com

八雲町

人口 15,338人(2022.1)
主な観光ポイント
噴火湾パノラマパーク

「道産サーモン」と「研修牧場」で産業を活性化し働く人をつくる



八雲町長と落部漁協青年部



北海道二海サーモン水揚げ

産業活性化と雇用創出に向けて

太平洋と日本海の2つの海を持つ八雲町では、近年、漁獲量が大幅に減少するなど漁業を取り巻く環境は厳しさを増しており、漁業経営の安定と地域活性化を図るため、回転寿司のネタとして人気のトラウトサーモンを養殖し、北海道初となる「道産サーモン」の事業化を進めています。

また、農業分野においても高齢化により酪農家戸数が減少しており、農業の担い手確保に向けた研修や、家畜糞尿のバイオガス処理など地域が抱える課題の解決を図りながら農業振興を目指す研修牧場の整備を行いました。

■プロジェクト

サーモン試験養殖事業・ 研修牧場整備事業

2つの海（日本海・太平洋）での
トラウトサーモンの養殖／
農業研修施設の整備 など

事業年度・事業費

令和2年度～
1,880,000千円



企業版ふるさと納税を活用し整備した
研修牧場「大関牧場」



〈八雲町政策推進課政策調整係〉

☎0137-62-2300

mail: seisaku@town.yakumo.lg.jp

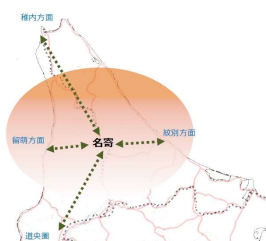
名寄市

人口 26,663人(2022.1)
主な観光ポイント
ピヤシリスキー場、天文台

「北・北海道物流拠点構想」の実現に向けて



物流オープンプラットフォーム



北北海道の交通の要衝・名寄

物流の拠点を目指して

名寄市では、稚内・紋別・留萌方面のすべてに道がつながっているという位置的優位性を活かした「北・北海道物流拠点構想」の実現に向けた取組を進めています。

物流の拠点として名寄市にモノが集まり、モノの輸送を効率化していくことで、地域経済の維持・発展につなげ、道北圏域の生産空間を維持していくために、オープンプラットフォーム（多様な業種がスペースを共有する物流拠点となるもの）の構築を進めます。

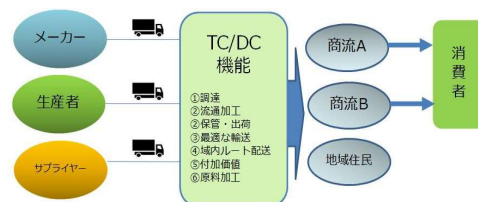
■プロジェクト

物流オープンプラットフォーム の構築

物流オープンプラットフォーム
の建設 など

事業年度・事業費

未定



物流拠点化イメージ



〈名寄市総合政策部総合政策課〉

☎01654-3-2111

mail: ny-sousei@city.nayoro.lg.jp

大樹町

人口 5,423人(2022.1)

主な観光ポイント

カムイコタン、坂下仙狹

大樹発！航空宇宙関連産業の集積による地域創生の推進



北海道スペースポート（HOSPO）
将来イメージ



HOSPO全景図

北海道に「宇宙版シリコンバレー」を！

大樹町では、大樹町を中心に北海道に多くの航空宇宙関連企業が集積する「宇宙版シリコンバレー」を目指すことにより、若者の雇用創出など地域創生を進めています。

ロケット射場やスペースプレーン（宇宙往還機）が離着陸可能な滑走路、格納庫など航空宇宙関連施設の整備を進めるほか、大樹町を拠点とする航空宇宙関連事業者への支援事業などを展開し、「宇宙版シリコンバレー」の形成を目指します。

■プロジェクト

航空公園機能拡充事業・航空宇宙関連ビジネス推進事業

ロケット射場・滑走路・格納庫等の整備/宇宙関連事業者支援 など

事業年度・事業費

令和2～6年度

2,470,000千円



ロケット打上げイメージ



〈大樹町企画商工課航空宇宙推進室〉

☎01558-6-2113

mail: uchu@town.taiki.hokkaido.jp